

WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

1月12日(木) 第24号
第2817回例会
第2510地区

●本日のロータリーソング 我等の生業

Rotary



年頭挨拶

札幌東ロータリークラブ

本日のプログラム

年男の弁(1)

■白石 正勝 会長

新年のご挨拶を申し上げます。会員皆様の暖かい支えを頂き前半を終えた事をまず感謝致します。まだ道は続きます。3月には11日IM、19日米山梅吉記念館訪問、4月には函館RCの地区研修・協議会のお手伝い、6月にはアトランタでのRI国際大会が控えています。



1868年(明治元年)は近代日本にとっての分岐点になった年です。大政奉還が行われ、列強に対応すべき人材が次々と歴史を動かし西欧の文化を見事に吸収し今日の日本の礎となったと考えます。この時代は経済では松下幸之助に影響を与えたと言われる石田梅岩、政治では勝海舟、桂小五郎、医者でも橋本佐内、緒方洪庵等多くの偉人の名前が浮かびます。

明治元年に生を受けた米山梅吉はわが日本RIの生みの親であり、しかも同年に米国ウィスコンシン州でポール・ハリスが生を受けています。彼らは同じ目標をもってこの時代を生きて行く宿命であったようであります。この3月19日に米山梅吉記念館訪問を企画しています。日本のロータリアンは一度は訪れて欲しい所です。記念館の位置する富士山の麓の三島は田園風景の落ちついた地域です。近くには熱海温泉が控えています。富士山を見ながらゴルフをしたり、ちらほら咲きだす下田の桜をみて仕事のストレスを忘れましょう。ぜひ多くの方に参加してほしいと思います。

残りの6か月を皆様と奉仕の精神と職業倫理をさらに勉強して参りたいと思います。伝統の

輝きを継承しつつ職業人として互いに尊びながら和をもって終るようご協力をお願い申しあげると同時に皆様の益々の御健勝・ご繁栄を心より祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

■関根 光晶 幹事

白石会長年度も半年が過ぎ無事に新年を迎えられました。昨年中は、皆様のご協力のもと支えていただき無事に過ごせました、本当に感謝申し上げます、ありがとうございます。札幌東RCに入会して9年、良き先輩、仲間に出会い、奉仕活動に参加でき充実した日々であります。幹事として残り半年も責任を全うできるよう努力して参ります。3月には米山梅吉記念館訪問、4月は地区研修・協議会サポート協力と皆様にはお願いする事がありますがご協力の程、お願い申し上げます。今年は一白水星の年で原因が結果として現れる“結実の年”になるようです。何事も慎重にこなせて行けたら良いと思います。札幌東RC60周年に向けての礎になるように努めて参ります、どうぞよろしくお願い致します。

マンスリー
メモ

ロータリー青少年交換とは、15~19歳の青少年が、最長1年間にわたり母国以外の国へ交換留学する機会を提供するRIのプログラムです。